

今、水道の民営化が狙われている！

水道事業の現状と水の公共性を考える

2018年12月6日 水道法「改正」

自治労連公営企業評議会 事務局長 近藤夏樹



水道とは？　なんで「今は」公営なの？

水道は憲法25条「生存権」を具現化する事業です。

25条って？

水がなくては生きられない

すべて、国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する

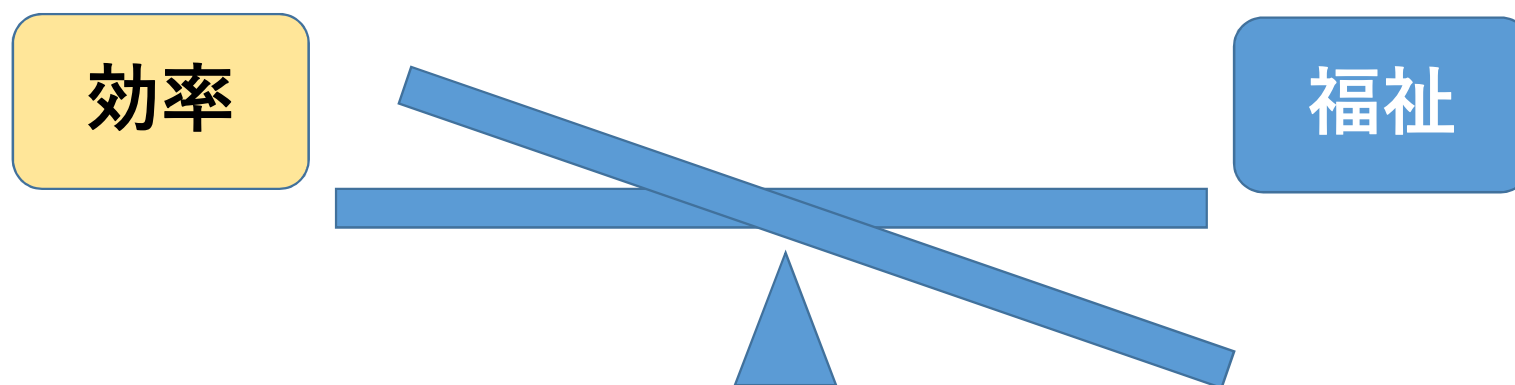
だから、公営で行う

だから、水道は厚生労働省が管轄しています。

地方公営企業法

(経営の基本原則)

第三条 地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。



憲法

- 水は生存権の保障
(農業、水道)
- 水がもたらす幸福権
(水道、下水道、環境水)
- 水の適正利用
(産業活動など)

水を商品に



国は「水道は危機的状況」と言うが・・・

人、モノ、金がなく、水道の安全性が保たれない、
「基盤強化」には、広域化と官民連携が必要だと言う。

その唯一の解決策が
広域化なのか？

民営化（官民連携）なのか？

でも、民営化して
大丈夫なの？



「広域化と官民連携」 なぜセットなの？

- 官民連携とは
大資本の要請を受けた「政」が
「官」をつかって、
水を商品とする動きです

- ◎これまでも公民連携で
高水準な水道を築いてきた

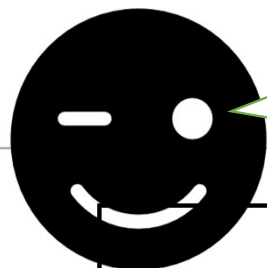
水で儲けたい
人のために

上下水道の「市場規模」

全国の

水道事業の収入は**2.7兆円**
資産規模は32兆円

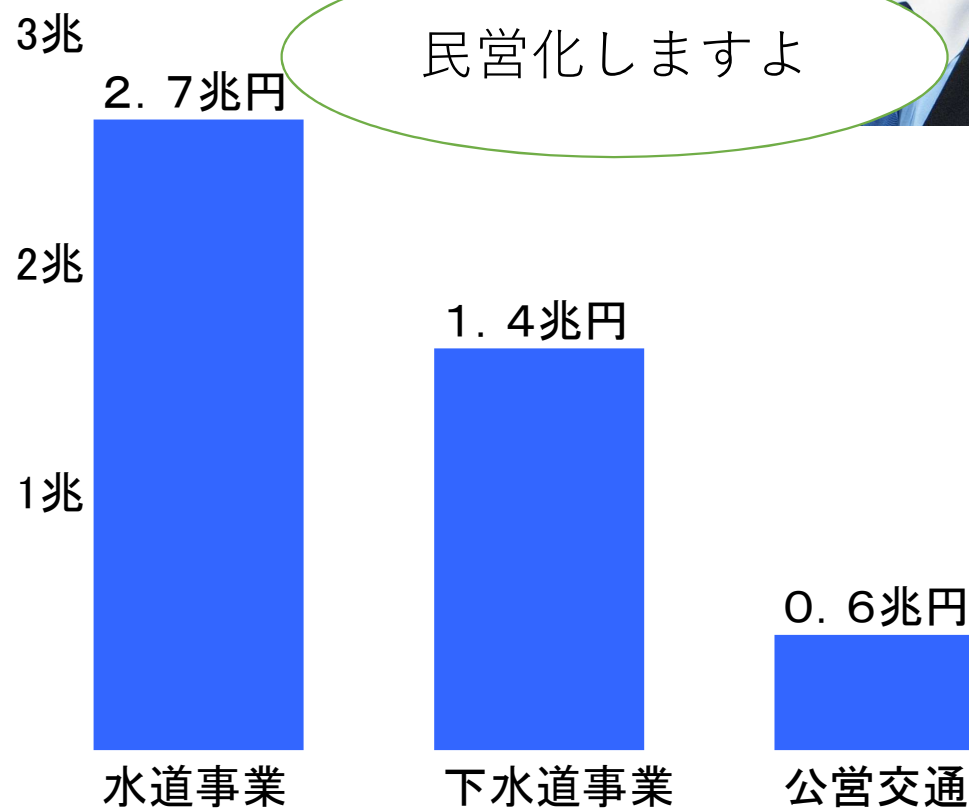
下水道事業の収入は**1.4兆円**
資産規模66兆円



4兆円以上

地方公営企業の収入

民営化しますよ



内閣府にいる

民間企業からの派遣職員が国を動かしている



菅の右腕と言われた、
内閣官房長官補佐「福田」が辞任。
水メジャー「ベオリア」から接待を受けた？

民営化計画のある浜松市長と福田は、
フランス・パリへ一緒に行っている。

肥大化する内閣府予算

2001年度7349億円

→2018年度は3兆1785億円

実に4.3倍

森友学園、加計学園疑惑
スーパーコンピューター助成金詐欺事件
リニア中央新幹線談合

「忖度」行政により国政を私物化

そして、

関西空港の水没！とタンカー衝突

日本の空港は、ほぼコンセッションです

カルロス・ゴーンショック！

水メジャー・ベオリアはフランス巨大企業

与党も賛成質問に
立てない状況へ・・・

等の矛盾！

いま通さないと・・・
という思惑がはたらいた？

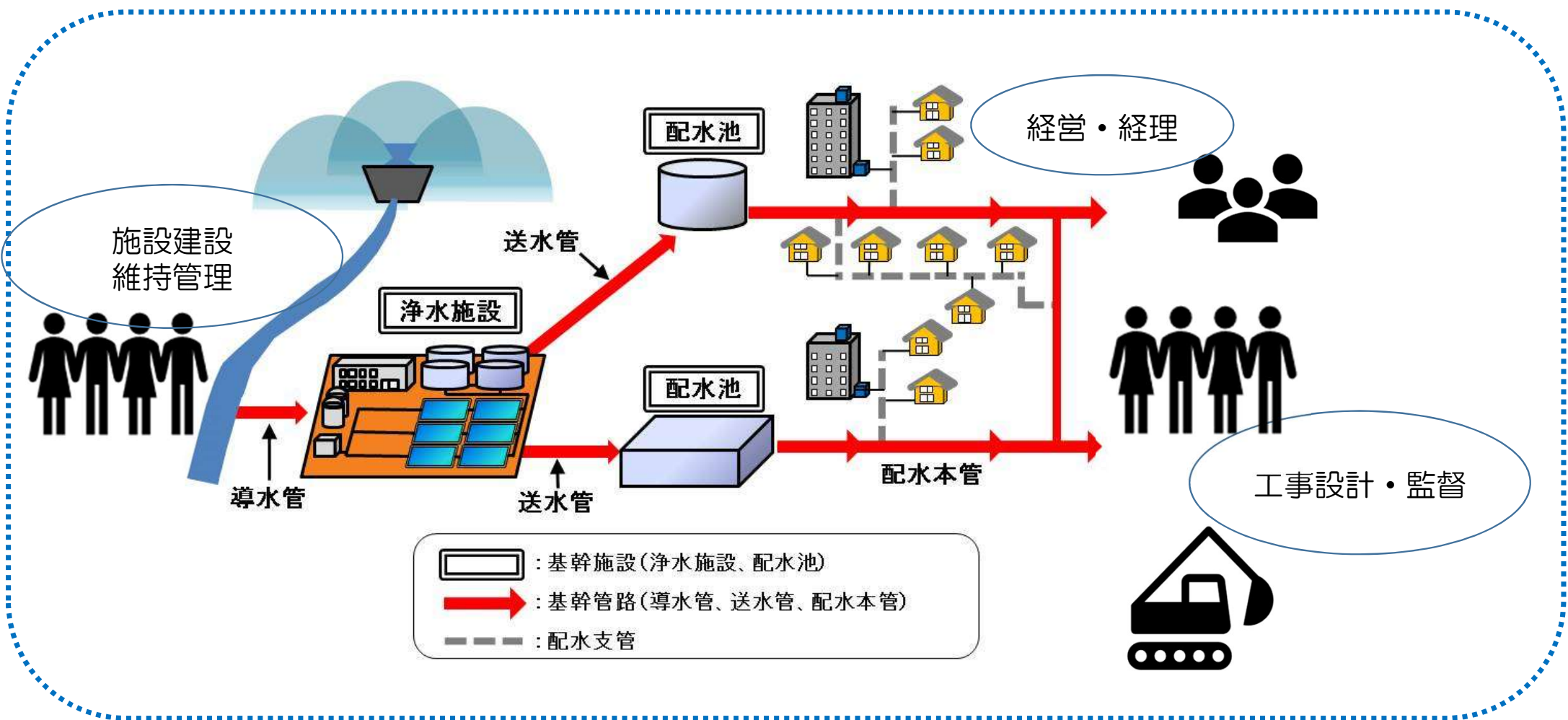
「民営化ではない」と国は言うが...

コンセッション方式は

リスクは「公」＝住民が背負う仕組みです

コンセッション方式は民営化手法のひとつで
委託とは明確に違います

資産は公が保有し、運営は民間に任せる



コンセッション方式は
「公設・民営」
「上下分離方式」
と言われていました

経営・経理



資産は
公のまま

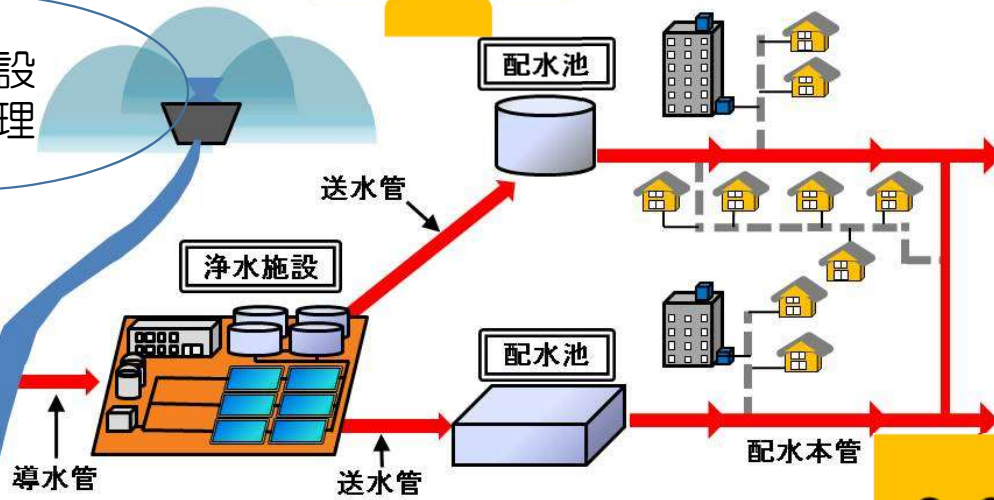
運営



施設建設
維持管理

工事設計・監督

よく
わからない？



- : 基幹施設 (浄水施設、配水池)
- : 基幹管路 (導水管、送水管、配水本管)
- - - : 配水支管

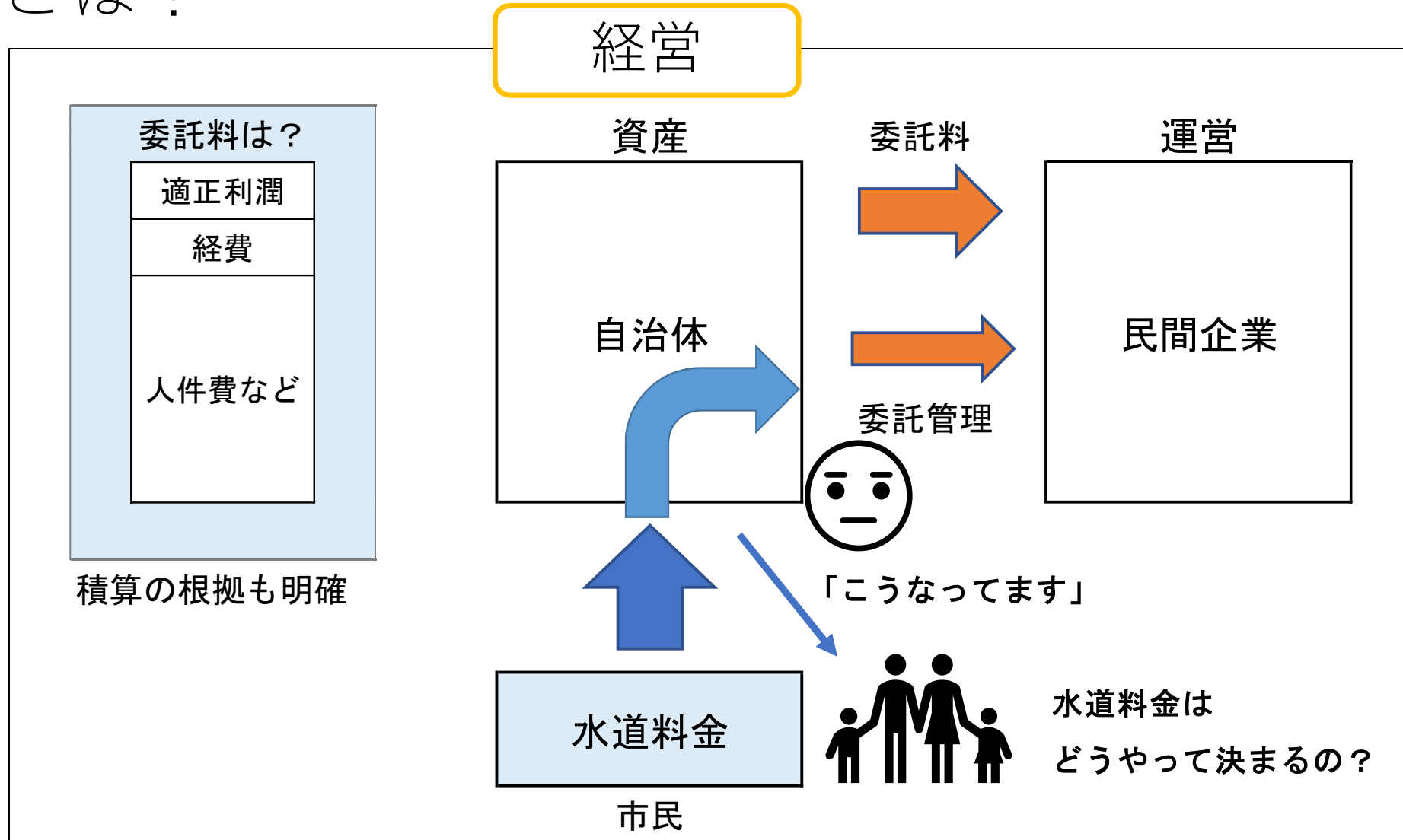
完全民営化じゃないから大丈夫？

ホントは
民営化だけど……

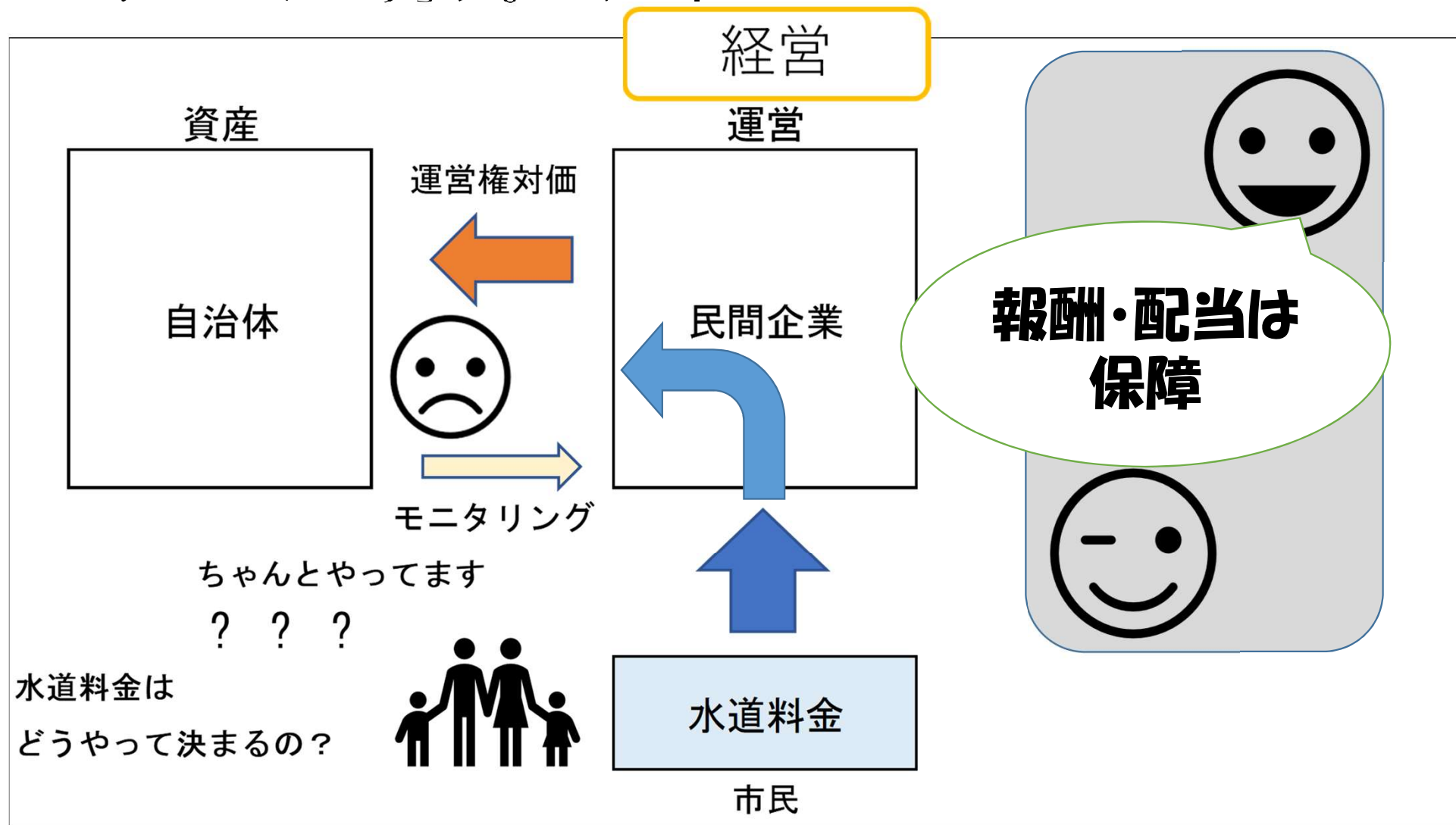
運営委託方式です



委託とは？



コンセッション方式とは？



委託では

- ①適正な価格で発注
 - ②適正に行われるか管理
 - ③不適切なら改善指導
- コントロールが効きます

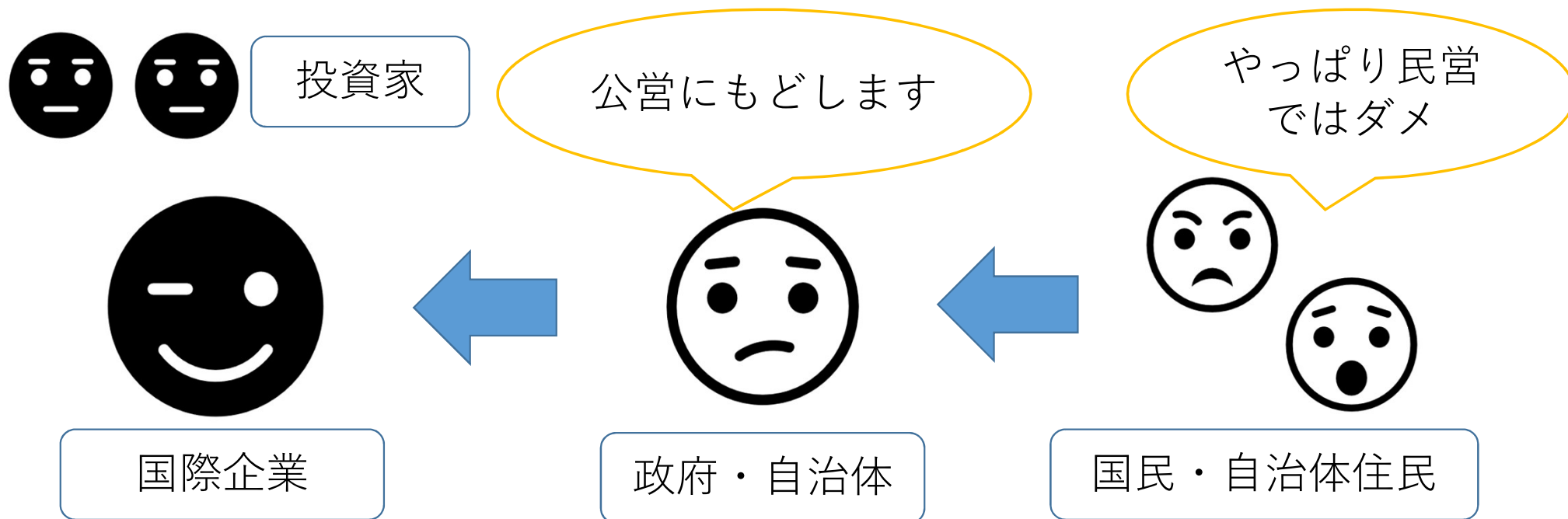
コンセッションは

- ①経営情報が公開されない
 - ②管理ができない
 - ③運営内容は任せる
- といった危惧が…
-

ISDs 条項

「投資家対国家の紛争解決条項」

- ラチェット条項とも呼ばれるこの条項は、投資家の利益を保護する条項で、外国資本を保護するもの



投資家は損しない

配当はちゃんと払え

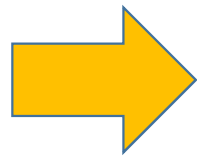


投資家

これだけ儲かるはずだった

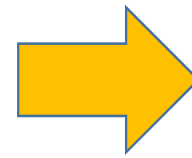


国際企業



政府・自治体

買い戻すには税金が必要です



国民・自治体住民

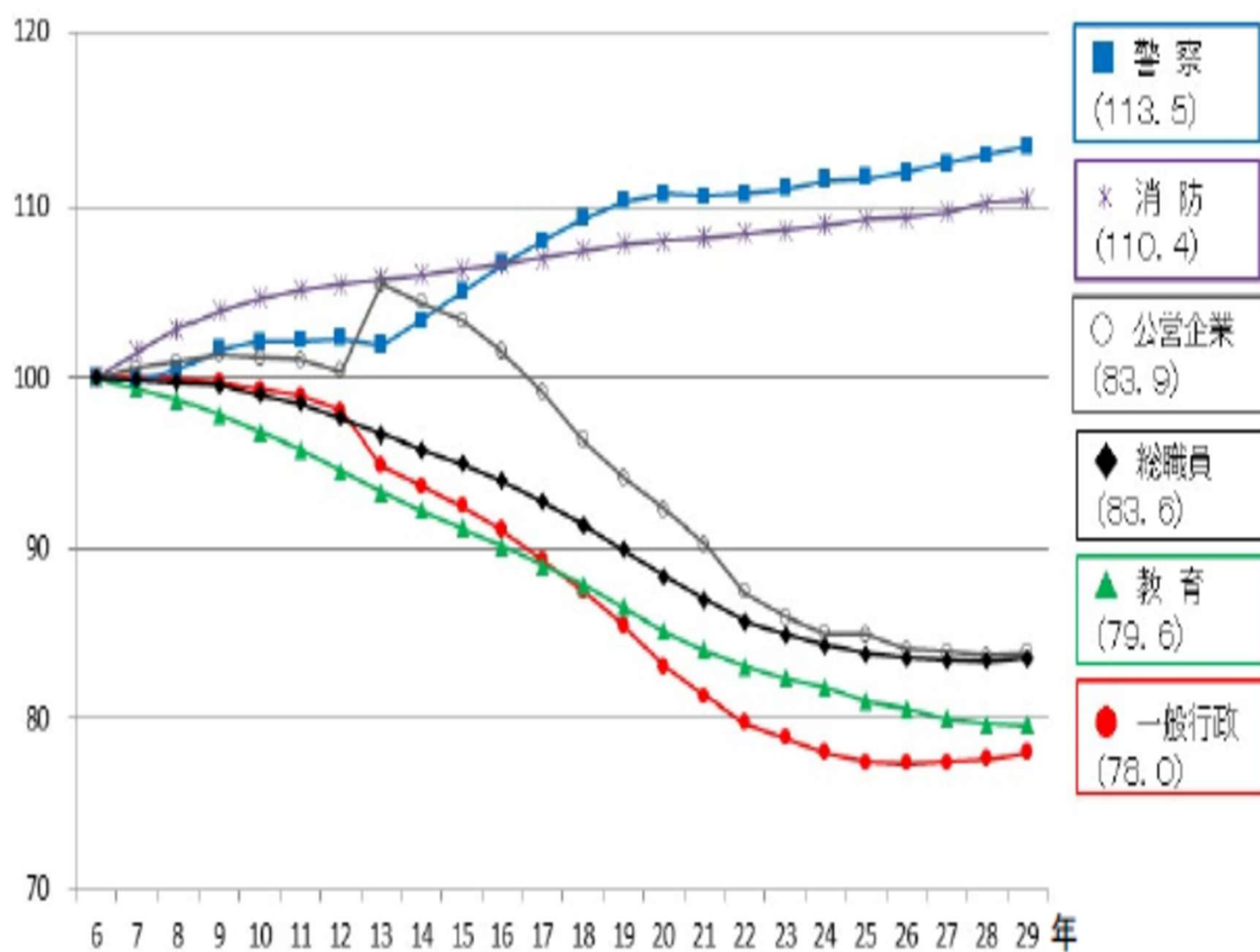
失われた技術力

新規採用がなければ委託するしかありません

委託が進めば

「民営化しても仕方ない・・・」

という気持ちに



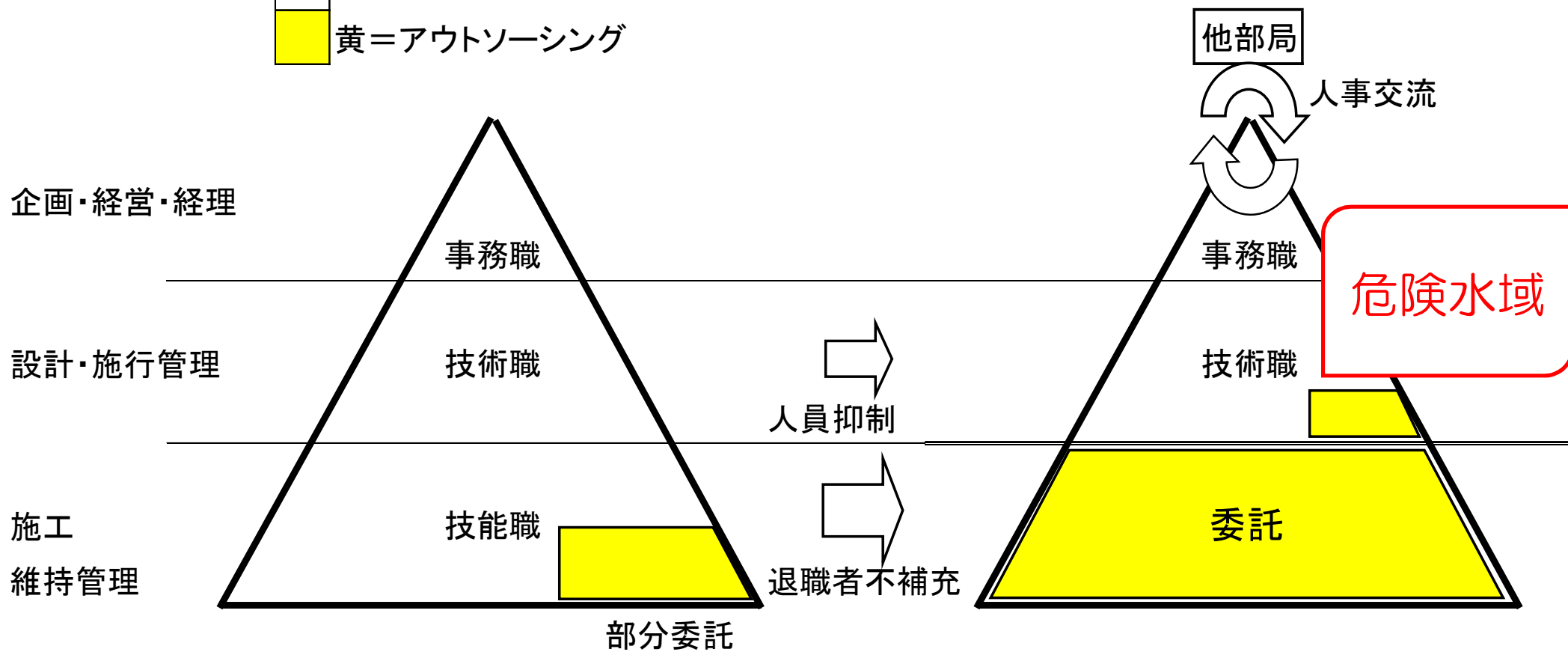
※平成13年に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。

小規模水道事業体から技術・技能が失われた

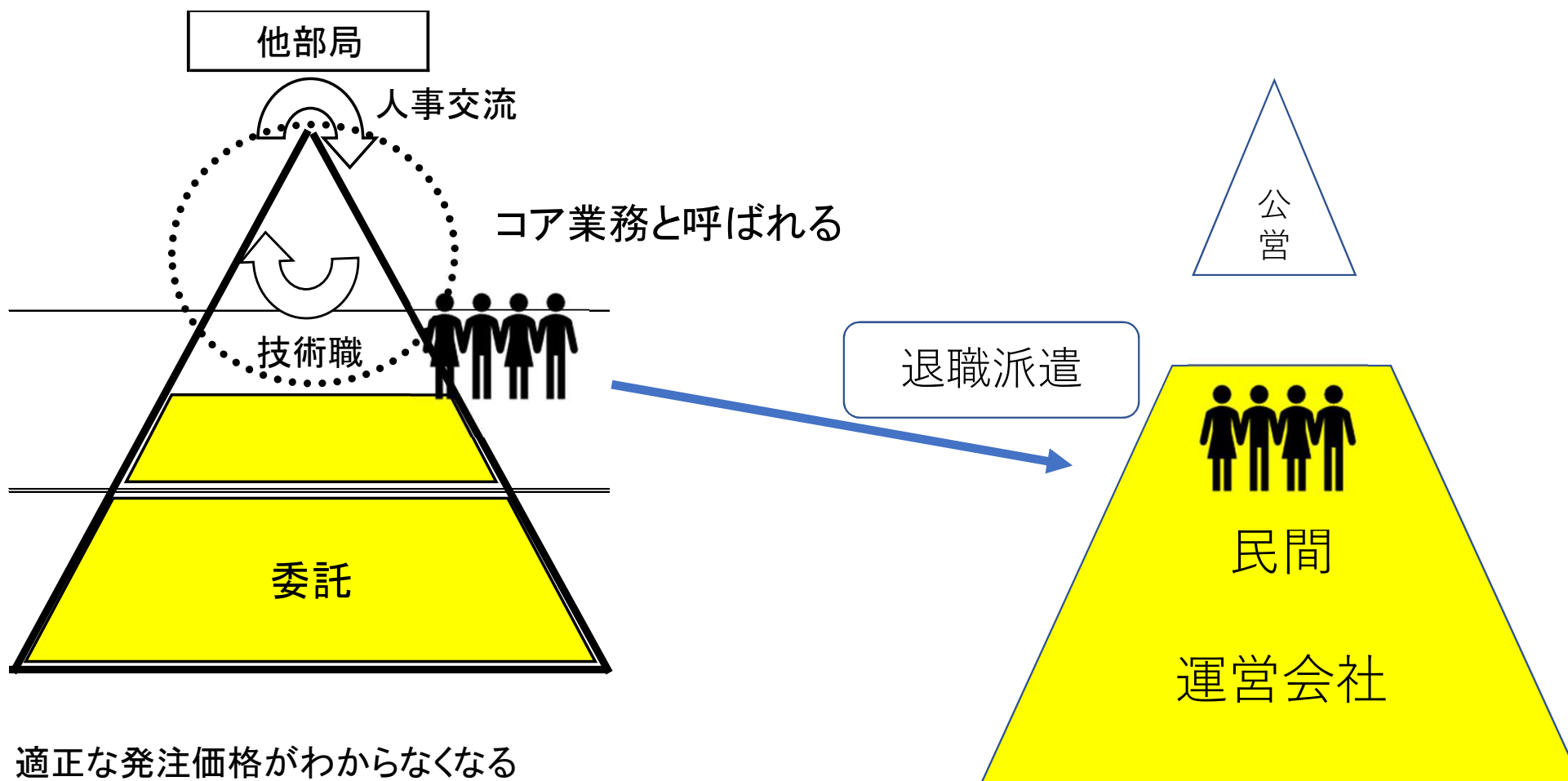
給水人口	事業毎の平均職員数				最多	中間値	最小	事業所数
	事務職	技術職	技能職	合計				
100万人以上	338	488	133	959	3847	2098	348	15
50万人～100万人未満	74	111	16	201	370	243	115	14
25万人～50万人未満	37	65	9	111	223	129	35	60
10万人～25万人未満	17	22	2	41	171	92	13	161
5万人～10万人未満	9	10	1	20	70	37	4	221
3万人～5万人未満	6	4	0	10	33	18	3	230
2万人～3万人未満	4	3	0	7	21	11	1	156
1万人～2万人未満	3	2	0	5	21	11	1	289
5千人～1万人未満	2	1	0	3	15	8	1	238
5千人未満	1	0	0	1	2	2	1	4

委託の進行と技術・技能の喪失

白ヌキ=直営
黄=アウトソーシング

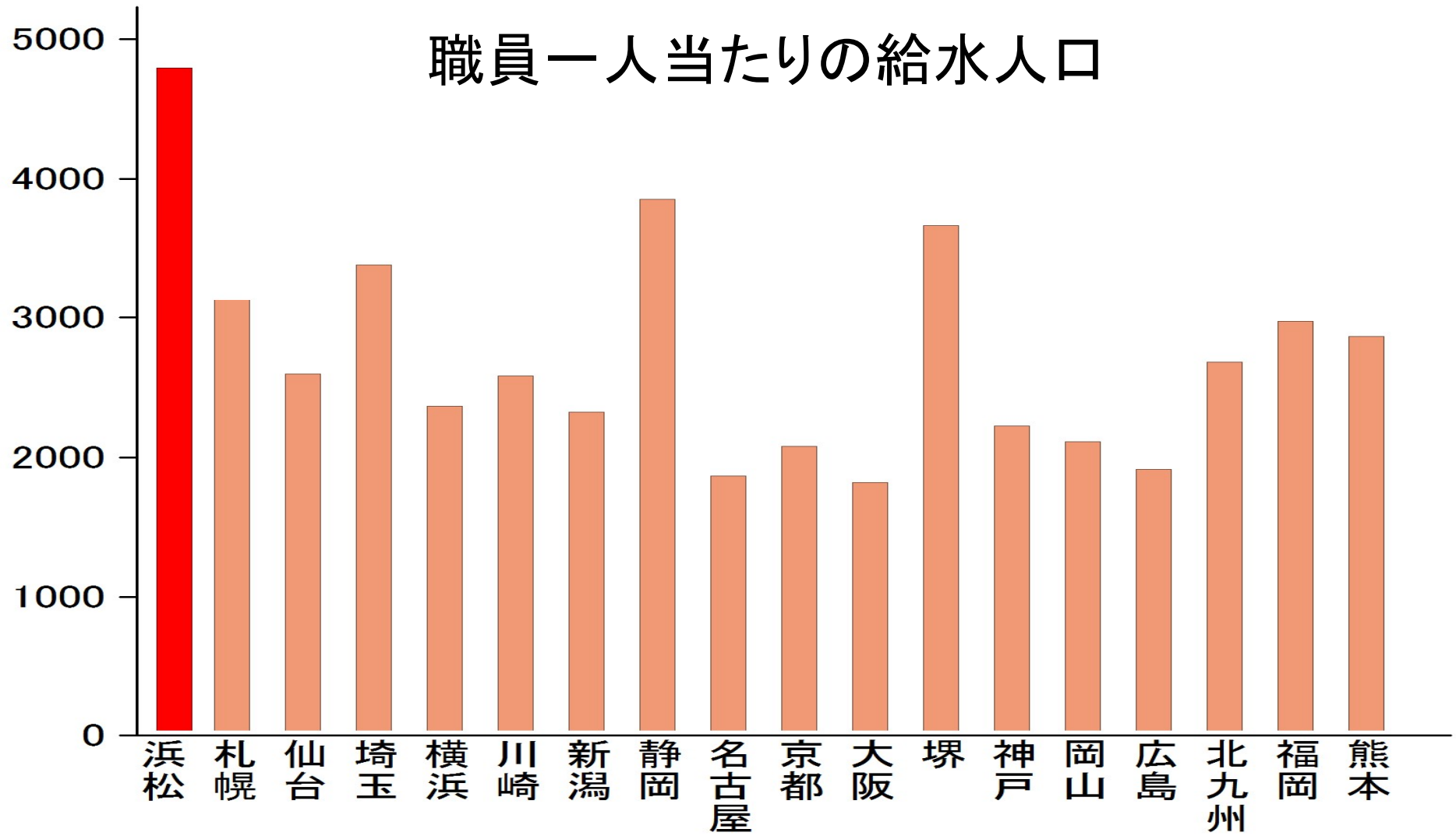


包括委託→そして上下分離（コンセッション方式）へ



適正な発注価格がわからなくなる
モニタリングすらできなくなる

職員一人当たりの給水人口



あまりピンとこない広域化 . . .

企業が儲けるためには、

①シェアを拡大する、

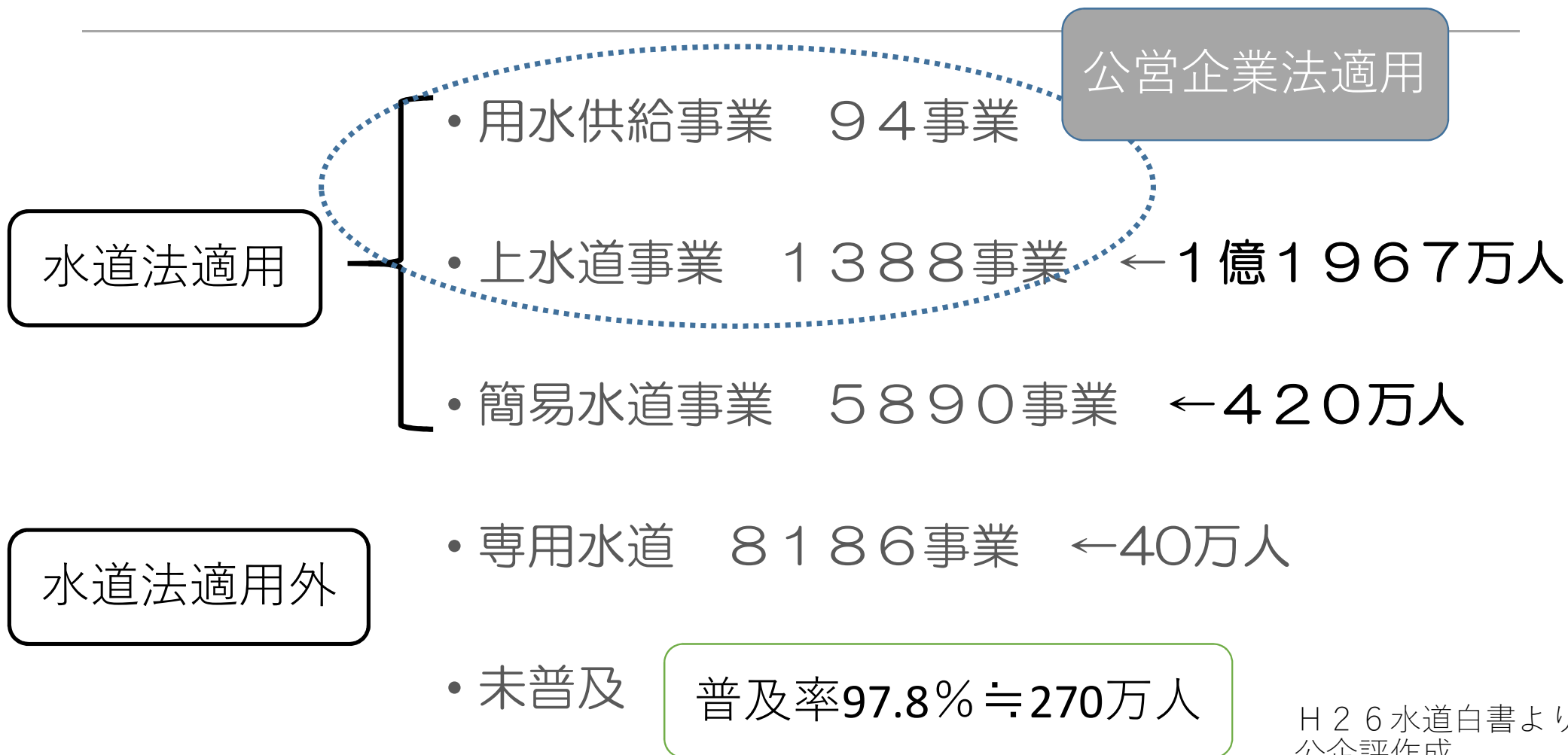
②料金を上げる、

③コストを下げる、

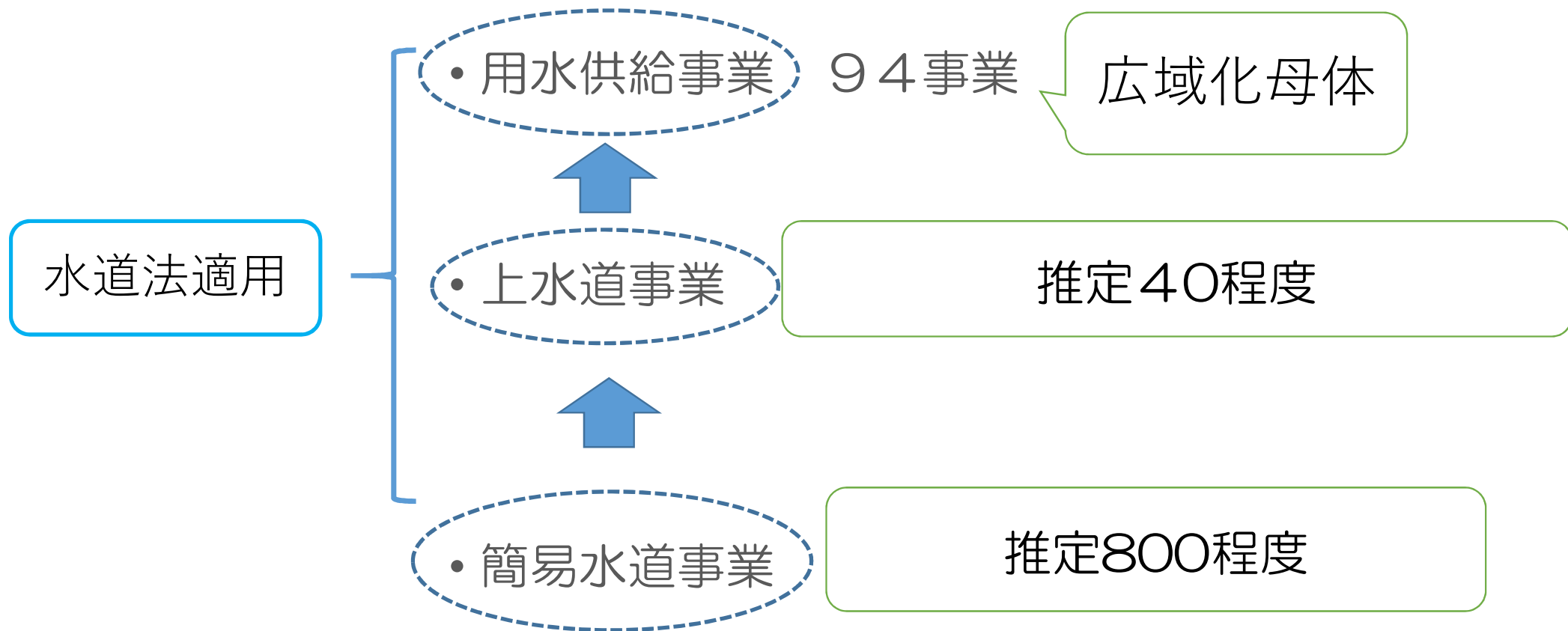
の3つが考えられます。

電気事業は全国9社

水道事業の数



1 都道府県に2～3へ統合すると、現在の1/10に...



公企評推測値

議会で上限を決めるだけ？

浜松市の説明では . . .

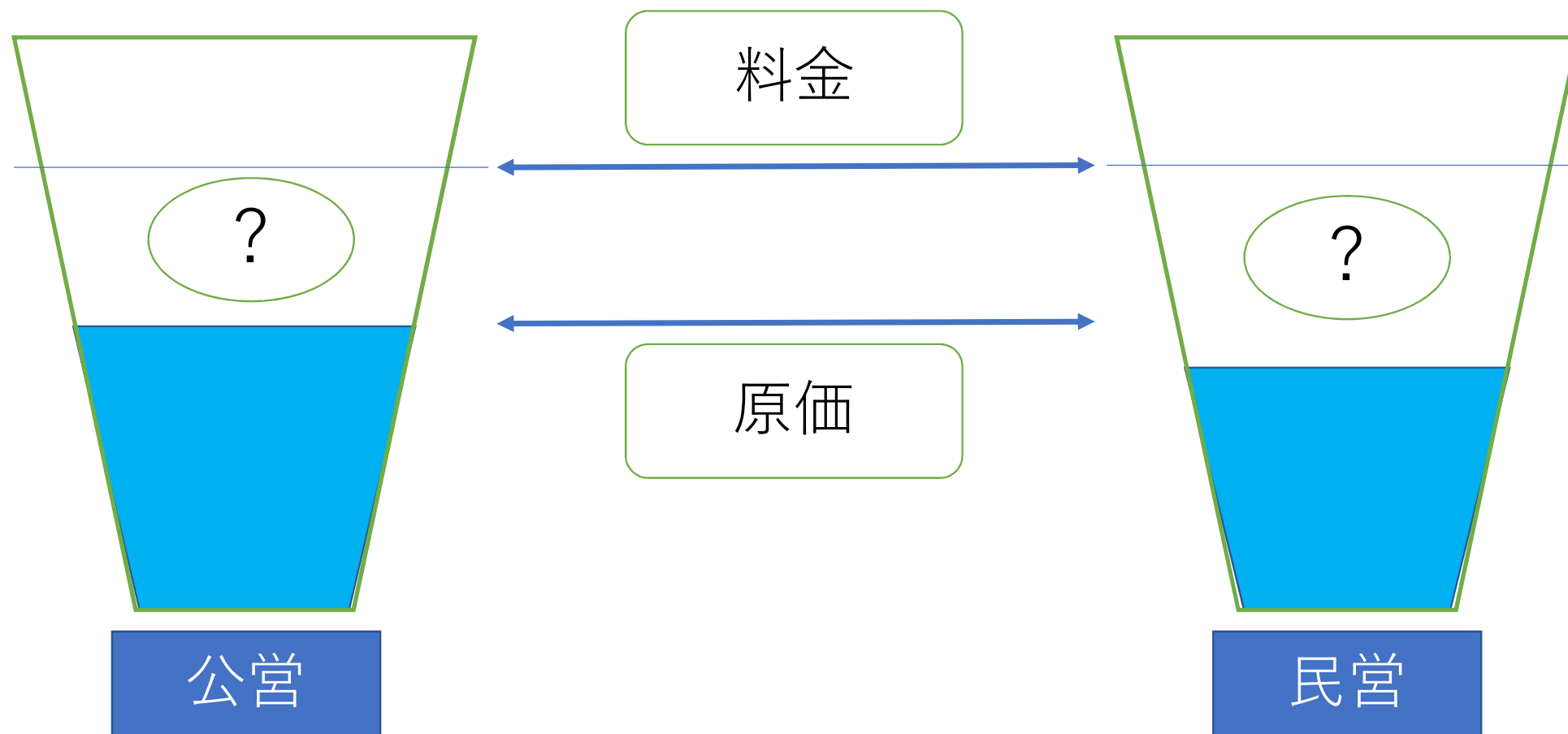
ここまでは値上げ可能？

公営のままだと1.46倍の値上げ、

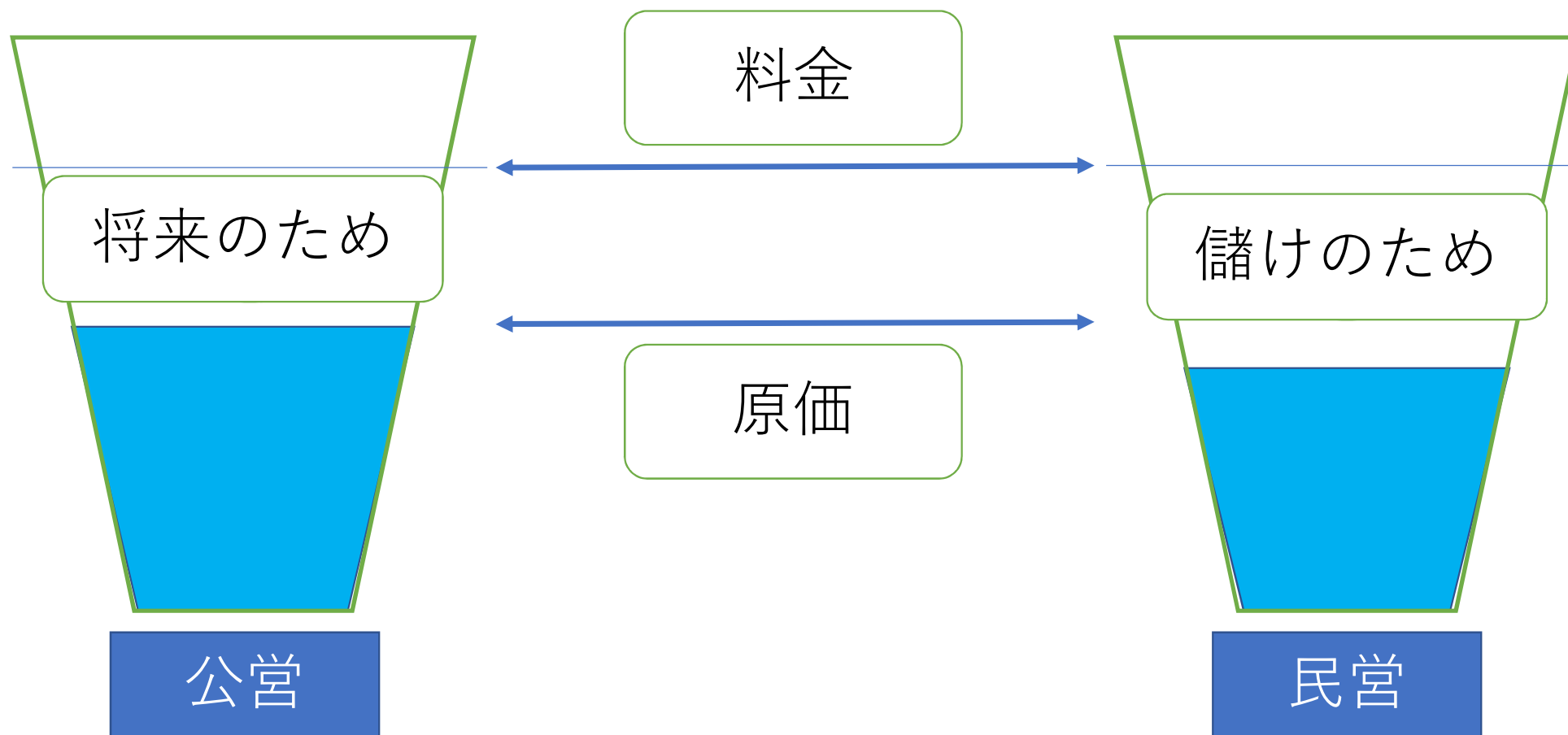
コンセッションなら値上げが7%抑えられる。

値上げが前提！！

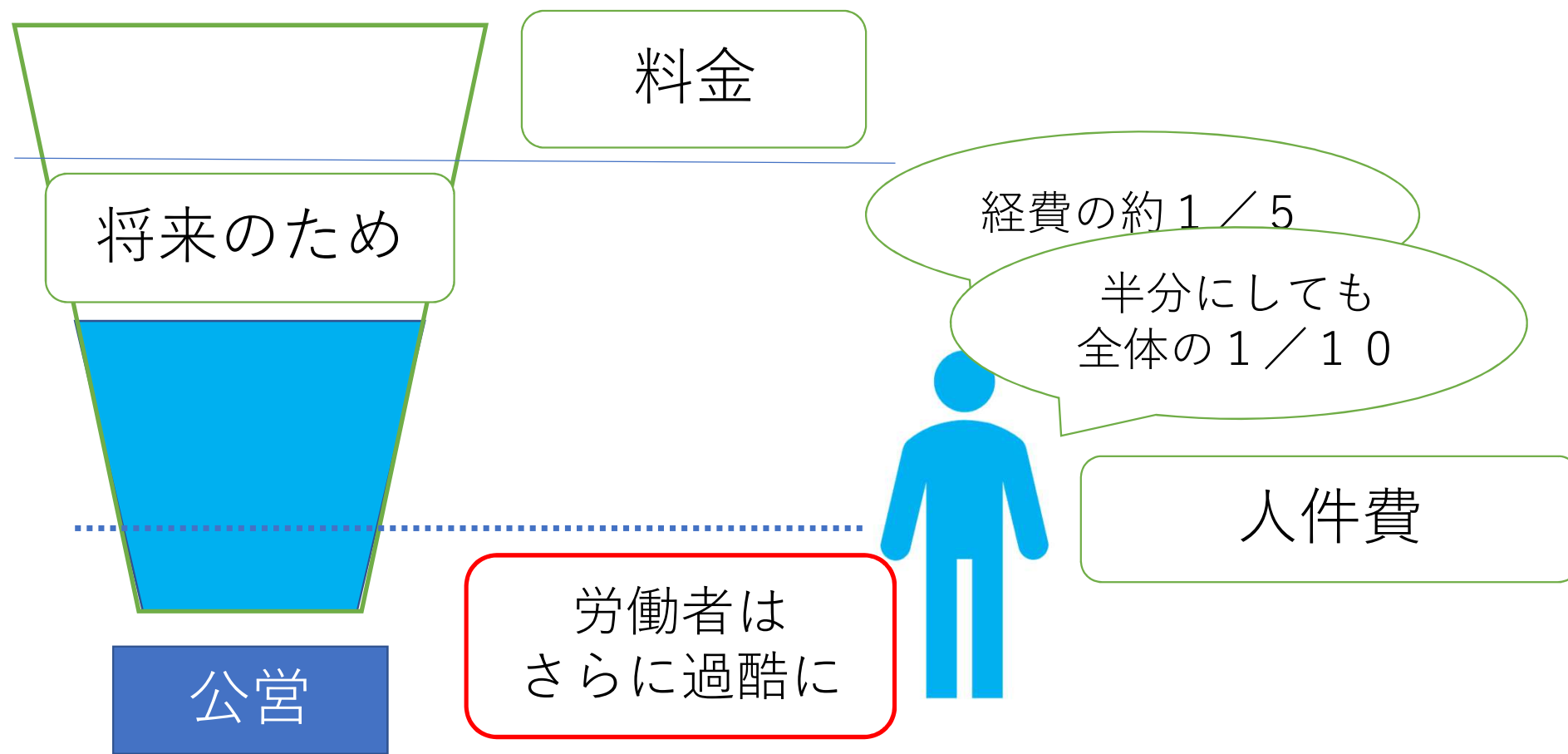
「企業努力」で原価を安くできたとしても



将来への投資ができなくなる



人件費の圧縮には限界がある



広域化されれば住民の声は届かない...

広域化すれば、

県議会や企業団議会で物事が決まります

民営化のためのハードルが下がります

広域化は失敗している...

料金値上げを
検討する
ある市では...

簡易水道事業を統合した
水道事業が経営難に

過大な水需要予測による
用水供給事業の経営悪化

広域化と官民連携以外の選択肢

① 公公連携

② 公民連携

③ 住民参加

④ 財源確保

⑤ 技術・技能

⑥ 流域連携・水循環

自治労連公企評の対案は
ホームページに順次公開

公営だから安全・安心とは言わない！

常に安全・安心な水を送り続ける努力と

公でも民でも同じ

市民に信頼される、確かな仕事を行い

かつてはひどい時代も…

関連する労働者も含めて、よりよい労働条件に

自分たちの既得権確保ではダメ

世界では、この15年で
32か国 267件の再公営化

**「市場開放中」の
日本へ**

水道市場を失った水メジャーは
日本の水道市場を狙う



イギリス会計検査院（NAO）レポート

- 英国の官民パートナーシップ請負企業カリリオンが2018年1月に倒産した直後、**国家機関で財政の監査役である英国会計検査院**がPPPの仕組みを克明に報告するレポートを発表した。
- 多くのPFIプロジェクトは通常の公共入札のプロジェクトより**40%割高**である
- 国民は先25年、£200 billion (**約29兆円**)をPFI契約に支払うことに...

ヨーロッパ会計監査院（E C A）レポート

- ▶ EU加盟国は指摘された問題点が改善するまでPPPを広い分野で集中的に**使うべきではない**と勧告。
- ▶ PPPs は公的機関に大規模なインフラを**一つの手続きでまとめた発注を可能にするが**、これによって競争効果はなくなる。受注者同士の競争がないうえに、ひとつにまとめることで**発注者への依存度が高まり**、発注者の公的機関は交渉において**弱い立場になる**。

2019年 **1月13日** (日) 13時開場 **13時半～**

浜松市福祉交流センター ホール 参加費500円

浜松駅北12時出発で、会場までデモを行います。

1・13 命の水を守る全国のつどい・浜松

ストップ！水道民営化 水はみんなの財産 売り物にするな！



橋本淳司 (はしもとじゅんじ)

国内外の水問題の現場を25年間歩いてきた水ジャーナリスト。アクアスフィア水教育研究所代表。水と人の未来を語るWEBマガジン「アクアシア」編集長。NPO法人 地域水道支援センター理事。NPO 法人ウォーターエイトジャパン理事。武蔵野大学非常勤講師。愛知県立芸術大学非常勤講師。著書に「67億人の水」「日本の地下水が危ない」「100年後の水を守る水ジャーナリストの20年」など。



尾林芳匡 (おばやしよしまさ)

東京弁護士会所属 弁護士
過労死等労働関係の事件を扱うほか、地方自治体の公務の民営化批判の講演執筆多数。著書に「新自治体民営化と公共サービスの質」「PFI神話の崩壊」(共著)「水道の民営化・広域化を考える」(共著)など。

パネリスト



内田聖子 (うちだしょうこ)

NPO法人アジア太平洋資料センター(PARC)共同代表
自由貿易・投資協定のウォッチと調査、政府や国際機関への提言活動、水民営化批判の活動などを行う。著書に「徹底解剖国家戦略特区—私たちの暮らしはどうなる?」(共著)、ドキュメンタリー映画「最後の一滴まで—300万の隠された水戦争」日本語版制作など。

浜松市をはじめ全国各地で水道民営化(コンセッション)が導入されようとしています。水は命を支える共有財産です。水は人権であり、利潤の対象ではありません。全国の市民の力を合わせ、各地での水道民営化を止めましょう！

1月13日は浜松に集まり、「ストップ水道民営化」を全国にアピールしましょう！

●プログラム

- パネルディスカッション
- 全国からの報告
- 浜松からの報告
- 参加者からの質問に答えて

「1・13命の水を守る全国のつどい・浜松」実行委員会

連絡先 浜松市中区野口町358 ☎090-1280-6425 (天沼)
FAX 053-570-1771 ☎080-6929-7801 (池谷)
e-mail: suidou2018@gmail.com

ご清聴ありがとうございました



水はいのちです

自治労連・公企評は
住民のための上下水道事業をめざしています



自治労連・公企評の活動に関することは
「自治労連 公企評」で検索を

